

加藤さん(金足農2年)最優秀賞に

県内高校生が快挙

農業を学ぶ高校生が日頃の学習の成果を競う「第74回日本学校農業クラブ全国大会」の農業鑑定競技会(生活分野)で、金足農業高校の加藤さくらさん(16)が生活科学科2年Ⅱが最優秀賞に輝いた。「農業高校の甲子園」とも呼ばれる同大会で、県内の高校生が最優秀賞を受賞するのは20年ぶり。

農業クラブ
全国大会

県勢、20年ぶりの受賞



日本学校農業クラブ全国大会で最優秀賞に輝いた加藤さん

大会は10月25日に熊本県で開かれた。競技会では、出場者が園芸や生活など8分野に分かれて知識を競った。

加藤さんが出場した生活分野には76人が参加。会場に並べられた農作物の種や食品を見て、「ナス科の種子はどれか」「この食品の包装技術を答えよ」といった問題計40問

を、1問20〜40秒で解いていく方式で実施された。

昨年度は最優秀賞に次ぐ優秀賞だった加藤さん。本年度は頂点を目指して準備を徹底した。過去問を繰り返し解いたほか、分からない単語を調べたり、学校の先生にももらった植物の種子をノートに貼り付けて特徴を覚えたりしたという。「分からないことを調べ、知識を身に付けていくのが好き。勉強は苦にならなかった」と笑顔で振り返った。

県勢の最優秀賞受賞は、2003年に大曲農業高の生徒が獲得して以来の快挙。「好感触ではあったが、全国の壁は高いので選ばれるとは思って

全国大会の表彰式10月26日、熊本県(金足農業高校提供)



ていなかった。(受賞者発表で名前を呼ばれて驚いたが、その後うれしさが込み上げてきた」と喜びを語る。

12日に県庁を訪れ、安田浩幸教育長らに受賞を報告した加藤さんは「来年度は2連覇を果たしたい」と意気込みを語った。安田教育長は「周りの人たちにも良い刺激を与えられるよう、これからも頑張ってください」と激励した。(石井ひかり)